発行日　2024年　8月　6日(火)

有馬高新聞　号外　令和6年7月　番外編　夏期講習

環境DNA調査

7月27日(土)、生物の夏期講習の一つ、「環境DNA調査」が相模大堰で行われました。

＜✎memo✎＞

・天気　晴れ☼

・気温　35℃

・場所　相模大堰（さがみおおぜき）下流

・参加生徒　4名

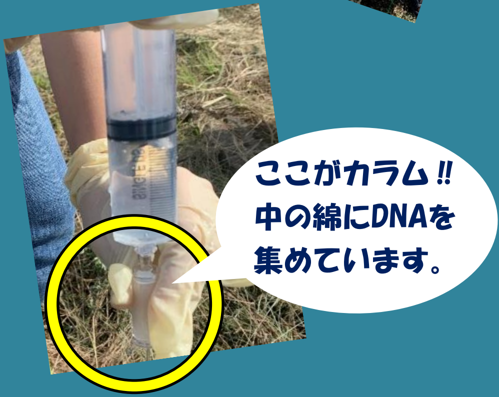
(1年2名 2年1名 3年1名)

＜調査手順＞

① まずはバケツを川に投げて、川の水を汲む。　＼なかなか遠くに飛ばせない…／

② 汲んだ水をシリンジで吸い上げる。**1回50mL**ずつ。

③ カラムに通して**濾過**。



／この押す作業が結構大変･･･＼

④　①～③を10回繰り返し、**計500mL**の川の水をカラムに通す。

参加生徒は学年がバラバラでしたが、4人で協力して作業に取り組んでいました。

⑤　研究機関に送るために**保存液**を垂らす。

／↑保存液＼

⑥　調査報告書に記入。調査した場所も忘れず記録。

＜参加生徒の振り返りより＞

・河川でのDNA採取と聞き、魚を獲ったり川の中にいる生物を捕ると思っていましたが、川の水の中に**DNAが浮いている**ことを、初めて聞き、とても勉強になりました。
・川に流れている無数のDNAを採取することで、どんな生物が生息しているのか**推測**できるということを学べた。
・**人間のDNA**をあまり検出させないように手袋を使ったり、バケツの淵に川の水以外が入ったらもう一回やり直したりして、気をつけなくちゃいけないことが沢山あった。
・今回の体験の中で、**目には見えないもの**の、DNAが無数に付着している綿の姿が未知が詰まっているようで特に印象的だった。調査結果が待ち遠しい。
・志望している**大学**でもフィールドワークをするため、今回の体験で学んだことを活かしていきたいと思いました。

？？環境DNAとは？？

　河川などの水を採取し、その中に存在するDNAを分析することにより、間接的にそこに生息する生物を調査する手法のこと。

（『河川のモニタリング調査の県民調査員を募集します』https://x.gd/g6Edhより）